

タイトル： 孤立者を増やさない！

SAAチーム5：横道慶一、宮下容子、竹田憲一

1. 企画の背景；
 - 1-1、1-2、1-3 孤独・孤立問題が社会課題化してきている！
2. アクション；
 - 2-1ー概要
 - 2-2ー渋谷区内での活動
 - 2-3ー墨田区内での活動
3. アクションから解ったこと；
 - 3-1ー面談から解ったこと
 - 3-2ー見守り活動の4つのパターン
 - 3-3ー民生委員を中心とした地域相関図
4. 今後の対策；
 - 4-1ー孤立者を増やさないための“4つのステップ”
 - 4-2、4-3ー“目指そう、孤立者を増やさない！”

1-1企画の背景；

警視庁発表：年間8万7000人ペースで孤独死が進んでいる

令和6年5月
警察庁捜査第一課

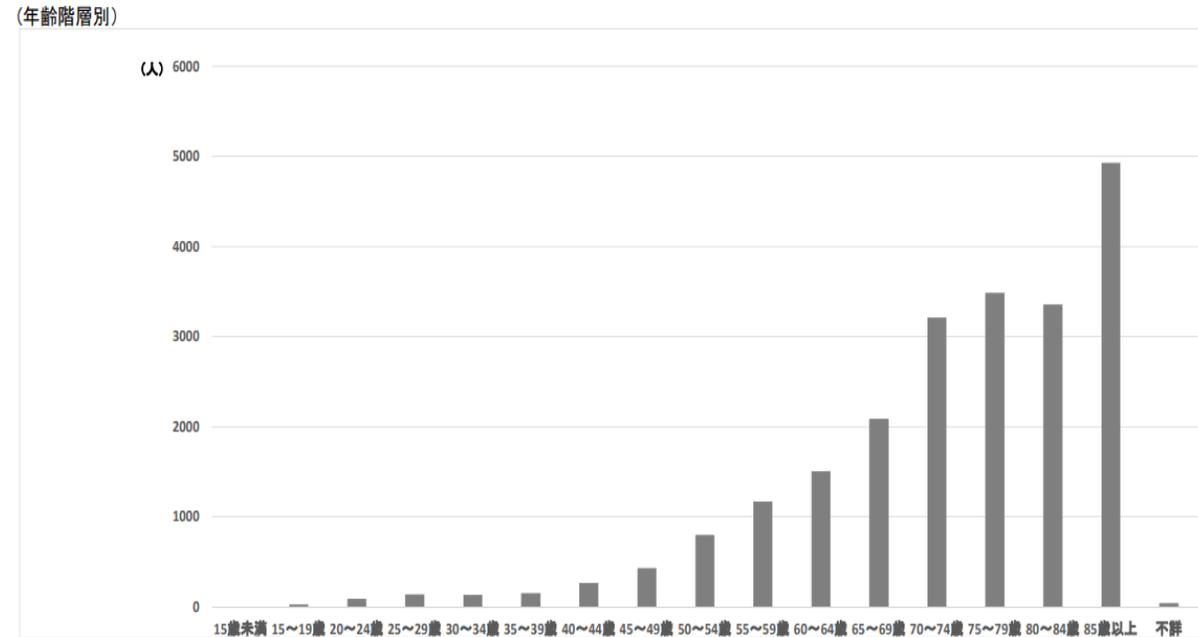
警視庁が2024年1月～3月を対象期間として、いわゆる孤独者・孤立死（死亡した一人暮らしの数）の全国的な集計を実施しました。これまで孤独死・孤立死に関するデータ集計は、東京や大阪などの一部の自治体単位は実施されていましたが、全国的な集計としてはこれが初めてとなります。

それによると、自宅で亡くなった一人暮らしの総数は2万1716人で、単純に年換算すると、8万6864人が孤独死・孤立死する推計になります。これは、2023年の人口動態概数における死亡原因順位にあてはめると、悪性新生物（腫瘍）、心疾患、老衰、脳血管疾患に続く5番目に多い数字となります。

※65才以上の方で79%以上を占める

2024年警察庁「警察取扱死体のうち、自宅において死亡した一人暮らしの者（1-3月暫定値）」より

警察取扱死体のうち自宅において死亡した一人暮らしの者
～令和6年第1四半期（1～3月）分 暫定値～



警察取扱死体総数	うち自宅において死亡した一人暮らしの者	年齢階層別の内訳																	
		【総数】	【割合】	15歳未満	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
60,466	21,716	35.9%	0	19	83	133	128	148	259	425	791	1,162	1,499	2,080	3,204	3,480	3,348	4,922	35

※ 警察庁刑事局捜査第一課に報告があったもの

1-2企画の背景；

孤独対策に官民連携 政府、重点計画を決定

2024年6月11日

孤独・孤立対策推進本部は、令和6年4月に施行された孤独・孤立対策推進法(令和五年法律第四十五号)により、総合的な孤独・孤立対策を推進するために設置されたものであり、内閣総理大臣を本部長とし、全閣僚により構成されています。

具体的には、孤独・孤立対策推進本部において、孤独・孤立対策重点計画の作成及びその実施の推進、孤独・孤立対策に関する重要事項の審議が行われることになっています。

孤独・孤立対策推進本部

第1回 令和6年4月19日開催

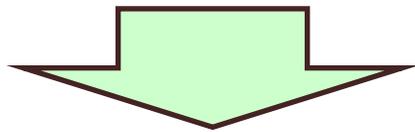
第2回 令和6年6月11日開催

1-3企画の背景；

■孤独・孤立問題が社会課題化してきている！

今後、長寿高齢化はさらに進み、この孤独・孤立問題は大きな課題となっていくことは避けられない！

- これまで社会を築いてきた先輩（高齢者）の方々が肩身の狭い思いをしているのではないか！
- どうしたら生き生きと楽しく充実した生活が送れるのだろうか！
- 孤立化を防ぐにはどうしたらいいのだろうか？



◆“孤立者を増やさない！”ことをテーマに掲げた。

2-1アクション；概要

第1期 8/24～10/28、渋谷区

面談への事前準備

- 1 面談資料の作成
 - ・アンケート調査票の作成
 - ・質問票の作成
- 2 孤立課題の関連資料調査

3つの地域団体との接触

- 1 広尾5丁目アパート：ZOOMにて
 - ・ 9/30ー赤提灯プロジェクト
 - ・ 10/28ー地域包括/社協
- 2 初台町会：訪問面談
 - ・ 10/8
- 3.初台地区体育会：ZOOM
 - ・ 11/13ーY氏

第2期 11/9～12/4、墨田区

近隣の民生委員と面談

- 11/5 ー吾妻橋3丁目
- 11/19ー横川1丁目
- 11/21ー横川3丁目*
- 11/23ー横川5丁目
- 11/23ー本所1丁目
- 11/23ー本所3丁目

*民生委員ではない

居住地域の活動へ参加

- 11/9 -防災委員会
- 11/10-防災訓練
- 11/16-ふれあいサロン
- 11/27-映画上映会
- 12/4 -歩け歩け会

行政関連機関へ訪問

- ★墨田区役所
 - 11/5 -高齢者福祉課
 - 11/5 -厚生課
 - 11/22-地域推進課
- ★行政関連機関
 - 11/12-立花ゆうゆう館
 - 11/14-社会福祉協議会
 - 11/18-地域包括センター

2-2アクション；第1期-渋谷区内での活動

1) 広尾の都営アパート；

① 9/30、赤提灯プロジェクトの4名とZOOM面談

➢ 地域の高齢者の孤独孤立の課題解決を目指して結成。

高齢者向けのニーズアンケート案の項目について意見出しなど協力を得たが、アンケート調査実施などの具体的な話へは進展には至らなかった。

② 10/28、この地域担当の地域包括Ⅱさんと社協Ⅰさんとリアル、及び、ZOOM面談。

周辺状況を聞いた所、アンケート取得以外の手法の検討含め現実的なアドバイスをいただいた。

2) 初台地域；Y町会長・A理事へ3名で訪問面談した。

5000世帯の大きな町会。連合町会の防災訓練で全体をリードされている。

ホームページもしっかりしていた。アンケート調査希望に対して何とか対応するご検討をいただいたが、行事が満杯の中での突然の要望でもあり見送りとなった。

上記2件の面談より、

① 11月はどの町会も行事は満杯であることからアンケート実施は断念して、地域の見守り状況の聞き取り調査へ変更することにした。

② 土地勘があり、人的な繋がりもある墨田区を中心に調査することとした。

3) 初台地区体育会；地区体育会会長のY氏とZOOM面談

11/13、ウォーキングフットボールに関するご説明実施。

➢ 体育会での実現可能性についてご検討いただくこととなった。

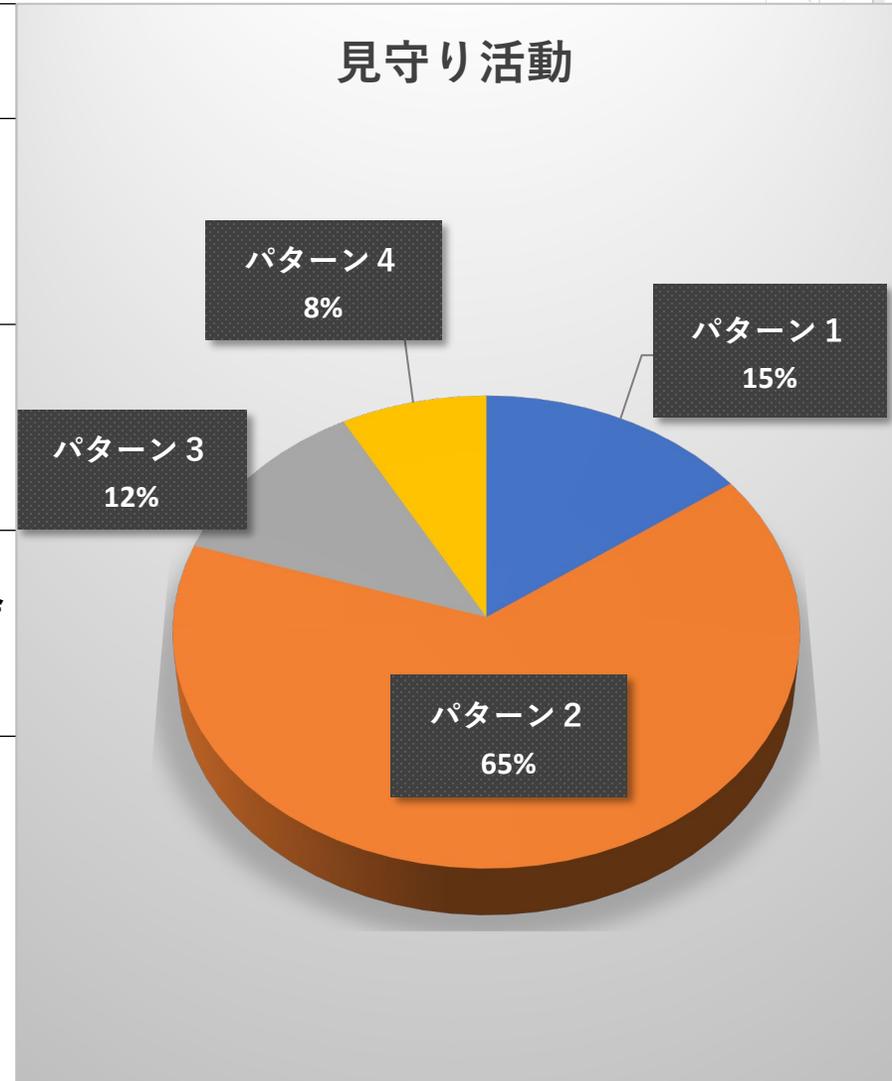
2-3アクション；第2期-墨田区内での活動

No	地域名	訪問日	面談者名	地域の世帯数(世帯)	65才以上(人数)	見守り体制		孤独死者数(人)
						見守り隊(人)	見守り対象(人-%)	
1	吾妻橋3丁目	11/5	T 民生委員	1000	400	民生委員 1人のみ	60人-15%	0
2	横川1丁目	11/19	I 民生委員	250	85	5~7人	65人-76%	3/3年間
3	横川3丁目	11/21	Sさん*	—	—	—	—	—
4	横川5丁目	11/23	O 民生委員	500	275	3G-20人	100人-65%	0
5	本所1丁目	11/23	A 民生委員	1700	680	4B-20人	150人-30%	0
6	本所3丁目	11/23	S 民生委員	750	300	4B-16人	120人-70%	0
7	墨田区役所	11/5	高齢者福祉課Wさん	行政データの扱いなどをお聞きできた。				
8	墨田区役所	11/5	厚生課/Tさん	社協の方の紹介を受けた				
9	立花ゆうゆう館	11/12	NAさん、Nさん	ウォーキングフットボールのご案内				
10	社会福祉協議会	11/14	Aさん	サロンやプラットフォームに力を入れている。助成金・貸金・後見人制度にて対応中。				
11	地域包括支援センター	11/18	Oさん	出前講座一覧、救急医療情報キット、タンポポなどの資料をいただいた。				
12	墨田区役所	11/22	地域推進課/Oさん	ホームページ開設町会など進んでいる町会の紹介を受けた				
13	立花ゆうゆう館	11/29	NさんとZOOM	竹田さんからウォーキングフットボールのご案内				

* 民生委員さんではなかった

3-1アクションから解ったこと ; “見守り活動4つのパターン”

		民生委員と見守り体制について
パターン1	15%	➤ 民生委員が不在 の地域
パターン2	65%	➤ 民生委員が孤軍奮闘 の地域 老人会やアパートの管理人などから情報は得ている
パターン3	12%	➤ 見守り隊が形成されていて 民生委員と老人会/婦人会が協力して定期的に見回りを行っている地域
パターン4	8%	➤ 見守り隊が形成されていて、町会の全面協力が得られている 地域 (全戸配布のアンケートにより、見守り希望者と見守り隊の参加希望者を手上げ募集して見守り体制を構築している地域)



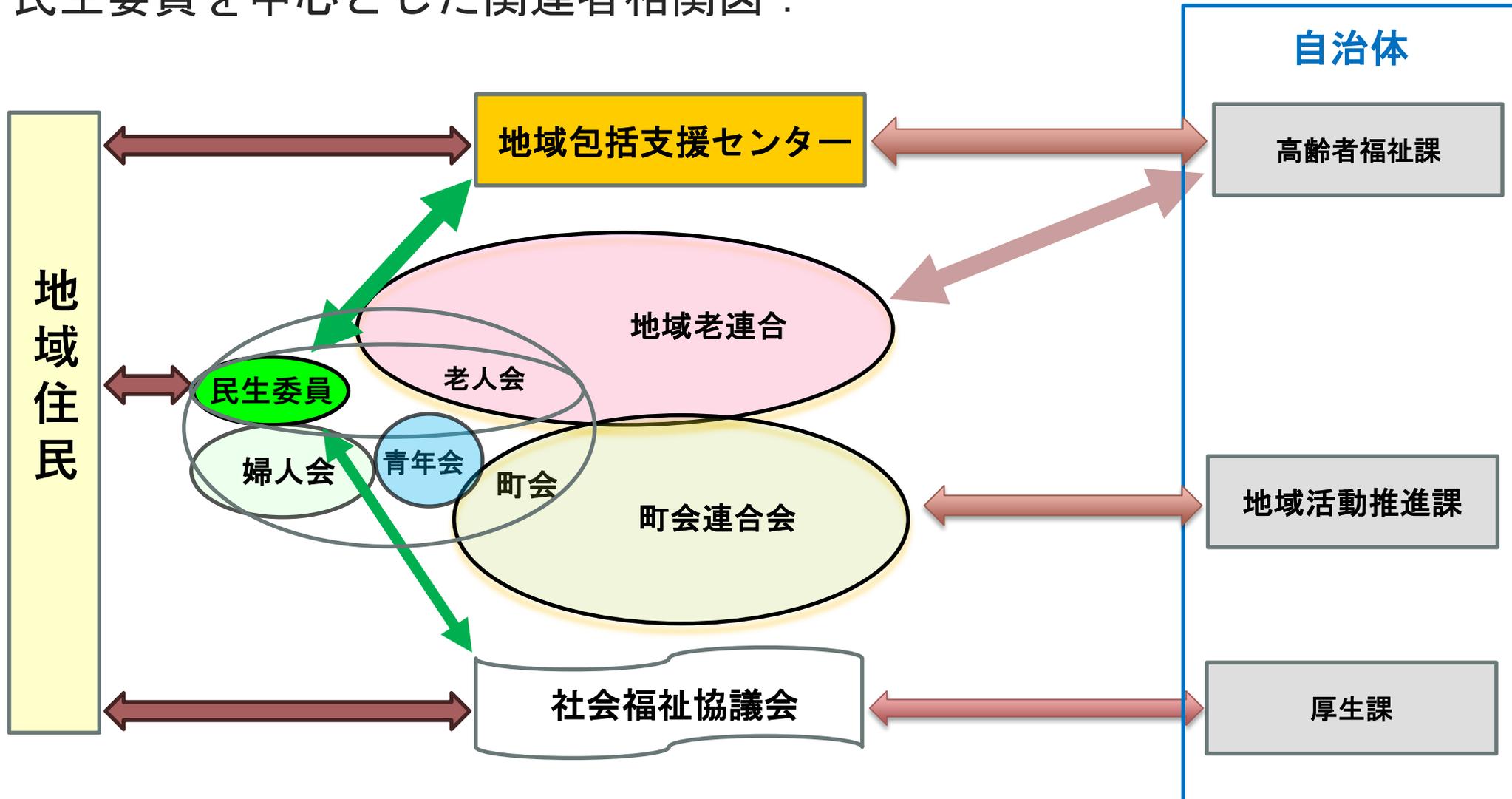
3-2 ; アクションから解ったこと ;

まとめ :

- 1 地域の見守り状況は地域により大きく異なることが解った。
- 2 地域の見守りは**民生委員の役割が大きいこと、民生委員が不在の地域が15%もあること、男性の民生委員が30%以上と考えていたよりも多くいることが解った。**
- 3 **見守り隊が結成されている地域は20%、それ以外の80%は見守り隊がないことが解った。**
- 4 **見守りに関わる人や部署の繋がりは複雑でその関係は整理して周知された方がいいと感じた。**
- 5 行政の基本サービスである**“緊急医療情報キット”**さえ周知されていないことが解った。。
- 6 **“孤立者予備群”**は必ず一定数以上いること、またその**接触は容易でないことを知った。**
- 7 **“孤立者予備群”**へ地域包括支援センターがリストアップして訪問していることを知った。

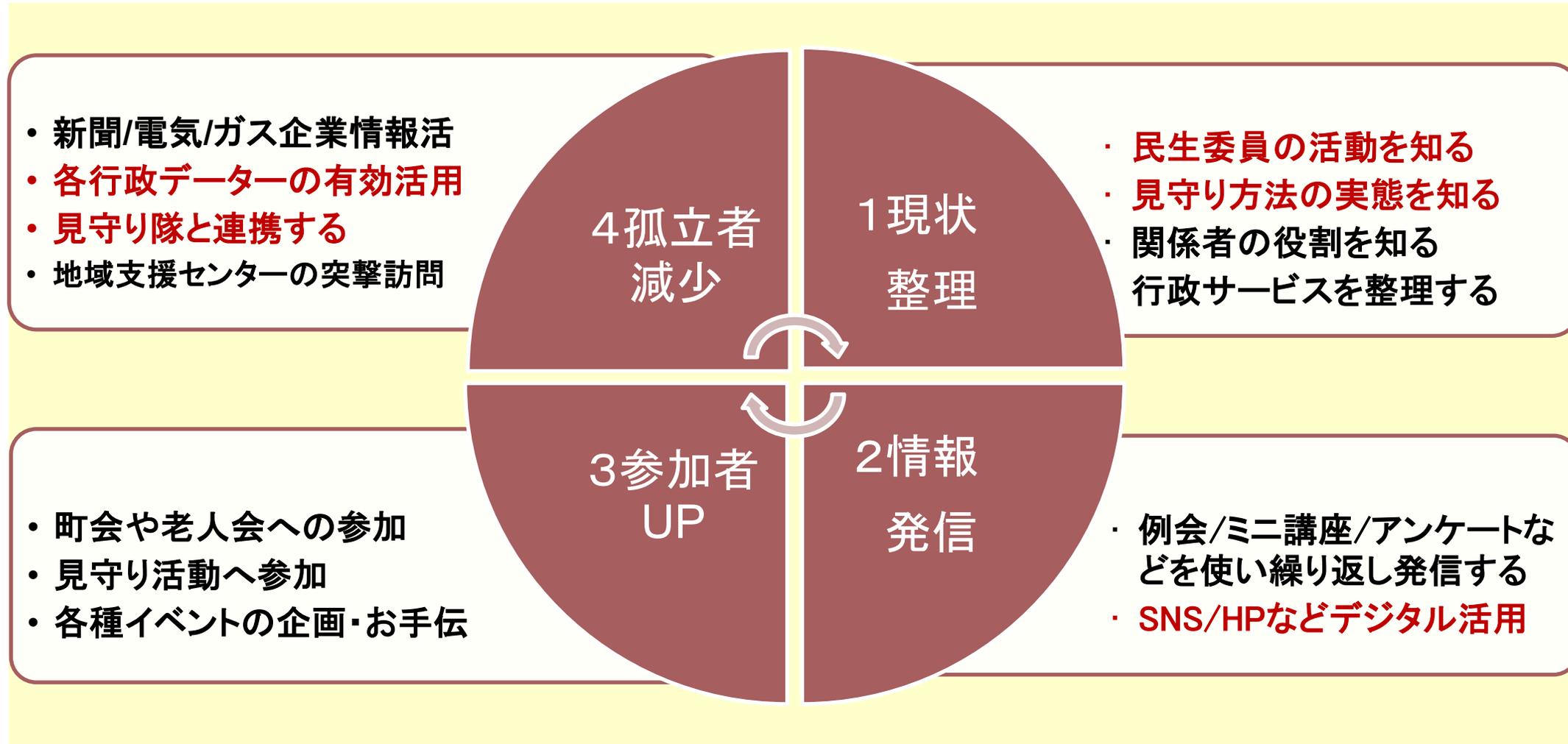
3-3アクションから解ったこと；

民生委員を中心とした関連者相関図：

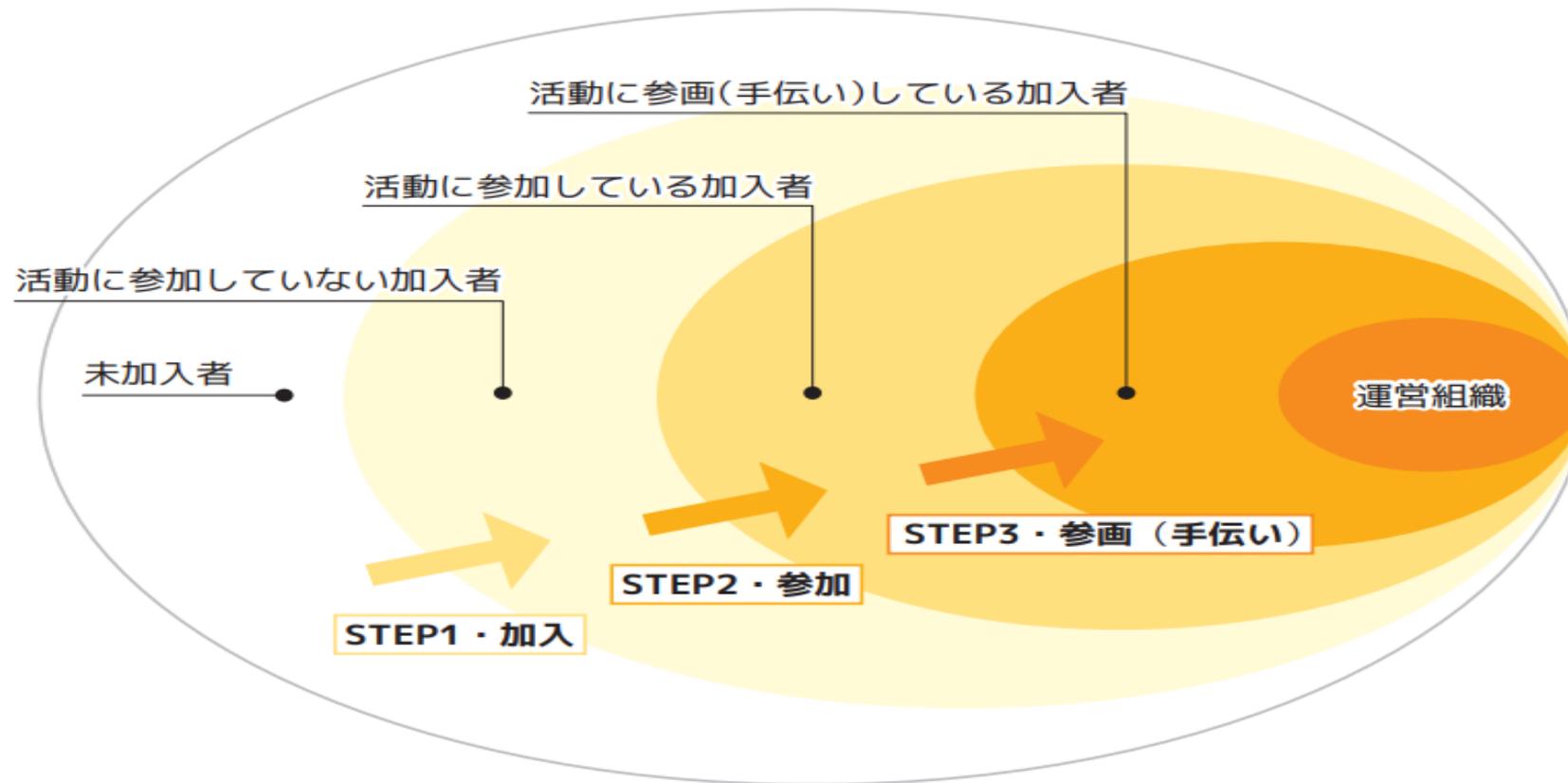


4-1 今後の対策；孤立者を増やさない“4つのステップ”

「現状整理」⇒「情報発信」⇒「参加者UP」⇒「孤立者減少」の4つのステップが好循環することにより、「孤立者を増やさない」流れを創ることができる！



4-2今後の対策；“目指そう、孤立者を増やさない！”



STEP1・加入

町会とのつながりの第一歩として、加入してもらう

STEP2・参加

町会活動に興味を持ってもらい、参加してもらう

STEP3・参画(手伝い)

活動や行事の参加から、少しずつ運営の手伝いをしてもらう

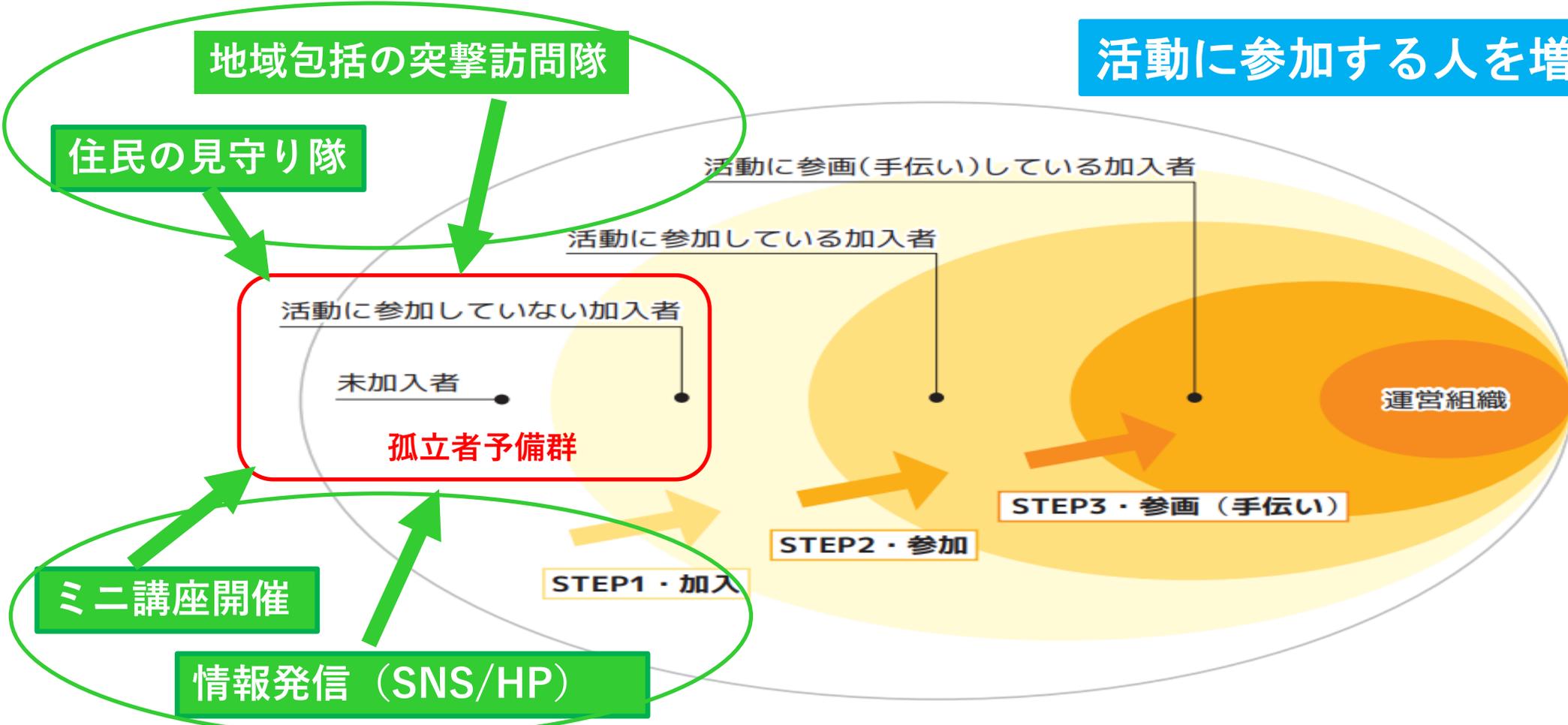
墨田区

町会・自治会
活性化のヒント

～加入促進に向けて～

4-3今後の対策；“目指そう、孤立者を増やさない！”

活動に参加する人を増やそう！



STEP1・加入
町会とのつながりの第一歩として、加入してもらう

STEP2・参加
町会活動に興味を持ってもらい、参加してもらう

STEP3・参画 (手伝い)
活動や行事の参加から、少しずつ運営の手伝いをしてもらう

墨田区

町会・自治会
活性化のヒント

～加入促進に向けて～

ステップを踏んで活動参加者を増やせば、
“孤立者を増やさない”ことは実現できる！

ご清聴ありがとうございました！

本資料は、「ソーシャルアクションアカデミー」の参加者である、企業人・NPO職員・学生などのグループが作成した、「ソーシャルアクション」の成果物です。本資料を引用される際は、出典について、以下の例を参考に記載いただきますようお願いいたします。

1. 資料のフッタにコピーライトを表示

【記載例】

© ソーシャルアクションアカデミー
©Social Action Academy

2. 引用箇所の末尾等に資料の出所を表示

【記載例】

資料：ソーシャルアクションアカデミー

資料：ソーシャルアクションアカデミー 2024 年度活動報告書より

資料：認定 NPO 法人サービスグラント『ソーシャルアクションアカデミー』 2024 年度活動報告書より

お問い合わせ

認定 NPO 法人 サービスグラント (担当：岡本・柴岡)

SAA@servicegrant.or.jp

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-2-10

〒541-0047 大阪市中央区淡路町 2-5-16 淡路町ビル 8 階

<https://www.servicegrant.or.jp/>

「ソーシャルアクションアカデミー」は、非営利組織とともにリアルな社会課題解決に挑戦する経験と、エキスパートによる講義やフィードバックを通じてビジネススキルを磨くことを両立する機会を提供する、超実践型アクションラーニングプログラムです。認定 NPO 法人サービスグラントが主催し、企業人、NPO 職員、学生など多様なメンバーがグループを組み、協力者の力を得ながら、自発的に企画したアクションに取り組んでいます。